

『 全体を通して 』

- ✓ SNS・インターネットの活用の仕方～形になる前から知ってもらう～
  - ・ワークショップなどを商店街だけではなく、新潟市などもっと多くの人に知ってもらう
  - ・「街おこし」というキーワードでメディアを巻き込む
  - ・話題性のあるもの、地域特産物を生かす
- ✓ お金～誰が稼ぎ、誰が利用するのか～
  - ・ボランティアというのではなかなか人が集まらないのでは？
- ✓ 活性化 ⇒ 商業につなげる
  - ・地元ならではの差別化



活性化には**若者**が必要  
→アルバイトがあれば増えるのでは・・・

『 若者が増える工夫 』

- アルバイトできる場所があるということが重要なポイント
  - ・何を切り口にしていくのか
  - ・働きたい人(学生)の専門性を生かすことが出来るバイト
- 若者が集まる場所が必要ではないか

働く人のニーズ  
↓ どうやって繋ぐのか  
働きたい人のニーズ



若者と高齢者を繋ぐには・・・

『 世代間交流の例 』

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 市民向けフィットネス           <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊栄の人以外もくるのでは？</li> <li>・若年層も来る、年齢差も関係なく集まる</li> </ul> </li> <li>➢ 世代間シェアハウス           <ul style="list-style-type: none"> <li>例①・高齢者：料理教える               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生：料理覚える</li> </ul> </li> <li>例②テーマをもったシェアハウス               <ul style="list-style-type: none"> <li>・料理好き ・ゴルフ好き etc.</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ カフェ           <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中：営業者 → 障害者&amp;高齢者<br/>お客 etc. → 交流の場</li> <li>・夕方～：営業者 → 学生<br/>夜間 お客 etc. → 勉強&amp;交流の場</li> </ul> </li> </ul> |
|---|---|

学生と高齢者の交流の場  
→住まいの場

『 新しいスポーツの開拓 』

- あまり**複雑**なものではないもの
  - ・水鉄砲
  - ・雪合戦
- スポーツで町おこしを全体でできれば・・・